

札幌 市民防災

第29号

令和5年10月31日
札幌市民防災団体連合会
発行責任者 田畑 隆二

令和5年度

札幌市民防災団体連合会総会(延期)・

札幌市総合防災訓練(9月6日(水) 厚別区

ふれあい広場あつべつ開催)

秋冷の候より、急に雪便りが聞かれる季節となりました。3年ぶりの訓練には学校移転にともない若い方々の参加が多く、高齢者社会には大変心強い訓練と成りました。

災害はいつくるか分かりません。訓練を繰り返すことで迅速で的確に対応することに成ります。今回多くの事を学ぶことが出来、他区でも今後毎年開かれますので、多くの方々の参加宜しく願います。

連絡会総会ですが、準備を進めておりましたが会場の都合により延期と成りました。分かり次第お知らせします。心よりおわび申し上げ、再会の折には多くの皆様ご出席お待ちしております。

「北海道胆振東部地震から5年」

札幌市長 秋元克広



左から天野副市長、石川副市長、秋元市長、
渡辺さん、町田副市長

札幌市民防災団体連合会の皆様におかれましては、日ごろから札幌市の防災行政に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成30年9月6日に発生し、札幌市及び北海道内に甚大な被害をもたらした「北海道胆振東部地震」から5年の歳月が経過しました。改めまして、お亡くなりになられた皆様に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

札幌市では、震災以降、停電対策の強化をはじめ、各種計画・マニュアル等の修正や、備蓄品の増強を行うほ

か、市民の皆様お一人お一人の「自助」や地域の皆さんによる「共助」をより促進するために防災情報の発信強化に努めるなど、防災対策の一層充実に取り組んでいるところです。

時が経つにつれて「北海道胆振東部地震」が発生したという事実が風化していかないためにも、今一度私たちが経験した災害の記憶を思い出し、日々の防災に生かしていただければと存じます。

結びとなりますが、札幌市民防災団体連合会の、今後、益々の御発展と会員皆様の御健勝、御活躍を心から御祈念申し上げますとともに、札幌市の防災行政に特段の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



災害に対する「備え・支えあい・防災力の向上」

札幌市民防災団体連合会 会長 田畑隆二

今年は、多くの国で自然災害による大きな被害が多発しています。

我国においても、異常気象による台風や豪雨による風水災害が発生し、多くの方が被害に遭われています。

当会の会員の皆様におかれましては、日頃より地域防災活動の推進を図り「安全・安心・のまちづくり」活動をされていると思います。これからの地域防災活動では、災害に対応するための備え、地域の支えあい、防災力の向上が重要とされています。

現在、札幌市では避難所運営研修（基幹避難所）を例年開催されています。各町内会が自主的に避難所の開設や運営が出来る事が不可欠と思われまます。当会の会員の皆様も、研修に積極的に参加して頂き、地域防災力の向上を図って頂きたいと思ひます。

今後も、札幌市危機管理局室と連携を取りながら、防災研修会、防災講演会等のご案内をさせて頂き、会員皆様の地域防災活動向上の一助と成ります様活動して参ります。今後共、ご協力を宜しくお願い致します。

令和5年度札幌市総合防災訓練について

札幌市危機管理局危機管理部危機管理課災害対策担当係長 川内佑紀

9月6日(水)、ふれあい広場あつべつ（札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2）をメイン会場として、「令和5年度札幌市総合防災訓練」が開催され、約600名が参加しました。

札幌市では、地域住民や地元企業、防災関係機関とともに、「自助」・「共助」・「公助」の一層の充実を図り、「災害に強い安全安心なまちづくり」を進めるため、毎年、大規模な総合防災訓練を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりとなったこの訓練では、石狩中部を震源とした札幌直下型地震の発生により、市内数か所で震度7を観測したという想定で実施しました。

秋元市長の講評では、「災害時に迅速で的確な対応を行うためには、いかに日頃から自助や共助の備えを行っているかが重要です。今回の訓練で得た知識や技術などを、今後の備えに活用していただき、自分の命を守る。そして地域を守る。そのための取り組みを進めていきましょう」と参加された方々へ語りかけていました。



第51回全国消防救助技術大会の開催について

札幌市消防局総務部総務課大会調整担当係長 **村田和慶**



令和5年8月25日(金)、札幌市において「第51回全国消防救助技術大会」が開催されました。

全国消防救助技術大会は、一般財団法人全国消防協会が昭和47年から開催しているもので、救助技術の高度化に必要な基本的要素を練磨することを通じて、消防救助活動に不可欠な体力・精神力・技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い・学ぶことで他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国民の消防に

寄せる期待に力強く応えることを目的としています。

札幌市での開催は、平成18年以来17年ぶり3回目であり、陸上の部を消防学校(西区八軒10西13)で、水上の部を平岸プール(豊平区平岸5-14)でそれぞれ行われました。全国の消防本部から約1,000名の隊員が出場するとともに、大会関係者や一般来場者など約9,000名が来場し、隊員が鍛錬を積んだ消防救助技術を披露するたび、会場から熱い声援と大きな拍手が送られていました。



また、今年(令和5年)は平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震から5年の節目にあたることから、北海道胆振東部地震の被害状況や消防救助活動の様子を伝える防災パネル展が行われたほか、消防車両の展示や放水体験、救助衣・防火衣着用体験、火災臨場体験VR、札幌市消防局消防科学研究所の一般公開なども行われ、家族連れを中心に多くの来場者が防火防災について学んでいました。

さらに、会場には消防防災に関わる企業も多数出展し、消防防災に関する最新の情報や資機材などが紹介・展示され、来場者は質問を交えながら興味深そうに説明を聞いていました。

地域特性を踏まえた災害に強いまちづくりに向けて

札幌市消防局厚別消防署警防課消防一係 **佐藤淳哉**

9月6日(水)の札幌市総合防災訓練では、厚別消防署をはじめとする消防や警察、自衛隊などの防災関係機関の連携強化を盛り込んだ訓練や、公共交通機関や民間企業・団体、さらには近年、厚別区の再開発により「G街区」に新たに開校した大学と専門学校、「I街区」に新たに集積された医療機関も加わった、産・官・学・医の連携を強く意識した訓練を実施しました。

訓練は2部構成としており、前半は、消防を中心とした防災関係機関による「災害対応訓練」を行い、後半は、市民に対して自主防災力向上を目的とした「体験型訓練」により、災害対処法と備えの重要性について広報も行いました。

この日は北海道胆振東部地震の発生から5年となり、地震被害者へ黙とうを捧げた後、ヘリコプターやはしご車による札幌学院大学屋上からの救出訓練や、多数発生した負傷者を重症度などに応じて優先順位をつけて分類するトリアージ訓練など、都市型災害の対応を目的とする訓練を実施しました。



令和5年度豊平区防災訓練

豊平区役所市民部総務企画課地域安全担当係長 **大平 拓司**

8月30日(水)午後1時から、西岡北小学校で「令和5年度豊平区防災訓練」が開催された。

この訓練は、豊平警察署や豊平消防署などの各機関や企業、団体の協力を得て、豊平区が主催したもので、地域住民や西岡北小学校の児童など、約140人が参加した。

グラウンドでは、煙の中を通る訓練や水を汲む訓練などが実施された他、パトカーや消防車の他、電気自動車から給電した災害対応型自動販売機も展示され、参加者は各コーナーの説明に熱心に耳を傾けていた。

体育館では、避難所運営や三角巾を使用した応急手当の訓練、AED(自動体外式除細動器)を活用した訓練が行われた。

また、防災無線を使用した本部情報伝達訓練が区で初めて実施され、実際に無線を使用した参加者は「携帯電話の通話くらいスムーズにやり取りができた。」と話していた。

その他、小学生向けのプログラムとして「災害救助犬とかくれんぼ」が市内で初めて行われ、倒壊家屋に見立てた箱に隠れた小学生を災害救助犬が嗅ぎ当てると、見学者から拍手が起こった。

訓練を終えて、芝井 静男(しばい・しずお)豊平区長は、「本日の訓練を受けて、改めて日頃の防災活動の大切さ、災害への備えの重要性を実感した。引き続き地域の防災対策にご協力いただきたい。」と講評した。



令和5年度 札幌市防災教育セミナー

演 題：『生きる力を育てる「さっぽろそなえ箱※」の活用』

講 師：住 友 静 恵 氏

令和5年4月に、市教職員向けに防災教育に関する電子教材(※)が公開されています。電子教材の説明や活用のポイントを講師による講話等を通して防災教育の意識を高めるとともに、防災教育の充実に向けて寄与することを目的に、市教職員を主として、8月7日(月)にTKPガーデンシティPREMIUM札幌大通でセミナーが開催されました。多くの参加者から「子どもの頃からの教育することの重要性を学んだ」との声がありました。



編 集 後 記

今年は新型コロナウイルス感染症も昨年迄とは少々おちつきと成り町内会行事も多く行われ、元気な子ども達の活動が見うけられ明るい街に成り、大人も元気をもらっております。又自転車ヘルメット着用が義務化され研修会も行うことにより、事故も少なく喜ばしい反面、高齢者の事故発生多いので十分気をつけましょう。

寒さも一段ときびしく成りますので火元には今一度ご確認を…

副会長 広報部長 渡辺 恵美子 FAX・TEL 011-851-9583番

印刷所 北晃社 齋加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011(631)1271